

岡山県感染症週報 2026年第8週 (2月16日～2月22日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』を発令中です

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令中です

◆2026年 第8週 (2/16～2/22) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況 (第8週届出分)

- 第7週 5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1名 (60代 女)
 梅毒 1名 (30代 男)
 百日咳 2名 (小学生 女1、中学生 男1)
- 第8週 2類感染症 結核 4名 (40代 男1、60代 女1、80代 男1、90代 女1)
 4類感染症 E型肝炎 1名 (50代 男)
 5類感染症 アメーバ赤痢 1名 (60代 男)
 侵襲性肺炎球菌感染症 2名 (70代 女1、80代 女1)
 梅毒 2名 (40代 男1・女1)

効果的な場面で
のマスク着用!



©岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：ARI 定点 50、小児科定点 28、眼科定点 12、STD 定点 18、基幹定点 5

- インフルエンザは、県全体で1,481名 (定点あたり 29.62人) の報告がありました。
- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で43名 (定点あたり 0.86人) の報告がありました。
- 急性呼吸器感染症 (ARI) は、県全体で4,292名 (定点あたり 85.84人) の報告がありました。

1. [インフルエンザ](#)は、県全体で1,481名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 29.90 → 29.62人)。岡山県は11月28日に『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、広く注意を呼びかけています。詳しくは、『[インフルエンザ週報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[2025/26年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ警報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で43名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 1.54 → 0.86人)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報](#)』をご覧ください。
3. [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#) は、県全体で4,292名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 84.00 → 85.84人)。詳しくは、『[★急性呼吸器感染症\(ARI\)情報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報](#)』をご覧ください。
4. [梅毒](#)は、2026年第8週に2名の報告があり、2026年の累計報告数は21名となりました (2025年の同時期：36名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[梅毒について](#)』をご覧ください。
5. [感染性胃腸炎](#)は、県全体で212名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 7.64 → 7.57人)。地域別では、真庭地域 (15.00人)、岡山市 (12.40人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。岡山県は『[食中毒\(ノロウイルス\)注意報](#)』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。県内の発生状況など、詳しくは『[感染性胃腸炎週報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[2025/26年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

◆インフルエンザ (B型) が流行中です。感染に注意しましょう◆

～A型に感染してもB型に感染することがあります～

流行の推移

疾病名	定点あたり報告数		推移	疾病名	定点あたり報告数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	29.90	29.62	➡	突発性発しん	0.18	0.21	↗
COVID-19	1.54	0.86	↘	ヘルパンギーナ	0.07	0.11	↗
急性呼吸器感染症(ARI)	84.00	85.84	➡	流行性耳下腺炎	0.00	0.04	↗
RSウイルス感染症	0.50	0.86	↗	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	➡
咽頭結膜熱	0.18	0.14	↘	流行性角結膜炎	0.08	0.08	➡
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	1.61	➡	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	➡
感染性胃腸炎	7.64	7.57	➡	無菌性髄膜炎	0.20	0.00	↘
水痘	0.04	0.14	↗	マイコプラズマ肺炎	0.60	0.20	↘
手足口病	0.50	0.21	↘	クラミジア肺炎	0.00	0.00	➡
伝染性紅斑	0.14	0.14	➡	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.20	0.00	↘

【記号の説明】 前週からの推移 ↗ : 増加 ➡ : ほぼ増減なし ↘ : 減少 増加・減少 : 前週比10%以上の増減

3月1日(日)～3月7日(土)は「岡山県子ども予防接種週間」

4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、
病気を未然に防ぎましょう！

毎年3月1日～7日は「岡山県子ども予防接種週間」です。予防接種への関心を高め、予防接種率の向上を図るため、さまざまな企画や啓発活動を実施しています。

県内の協力医療機関では、予防接種を行うだけでなく、予防接種に関する様々な相談にも応じています。また、協力医療機関によっては、通常の診療時間帯に予防接種を受けにくい方のために、土曜日や日曜日など、通常の診療時間外の接種も行っていますので、以下をご覧ください。

[対象疾病・協力医療機関一覧などはこちら（岡山県疾病感染症対策課）](#)

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。必要な予防接種を確実にすませ、病気を防ぎましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村や、岡山県予防接種センターにお問い合わせください。

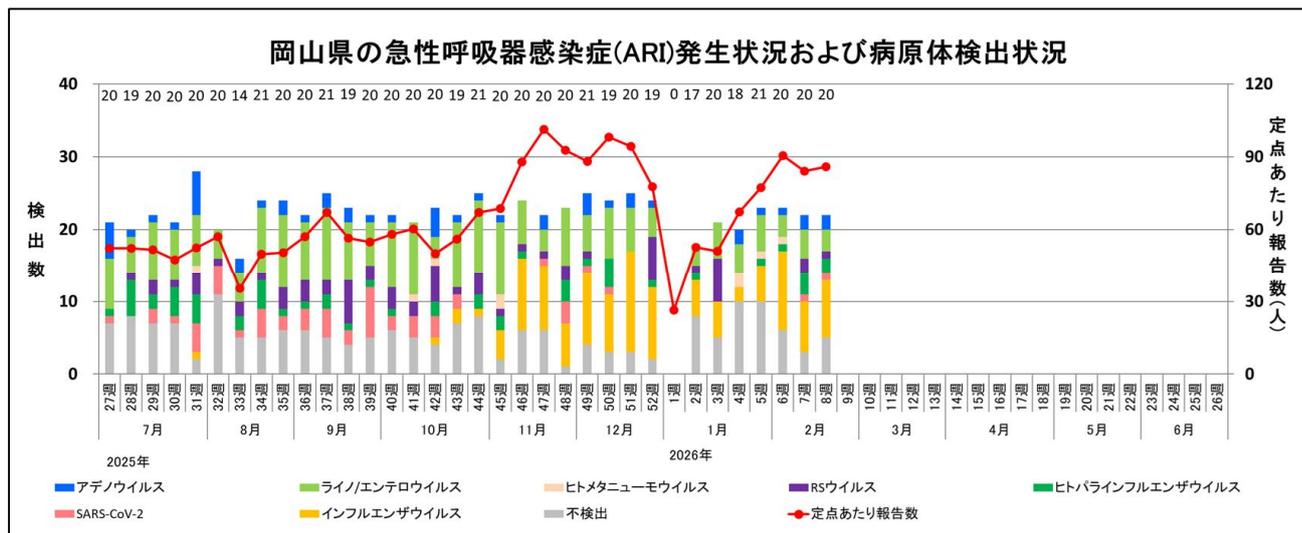
- [市町村窓口一覧（予防接種関係）（岡山県疾病感染症対策課）](#)
- [岡山県予防接種センター（川崎医科大学総合医療センター内）](#)



©岡山県「ももっち・うらっち」

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第8週（2/16～2/22））



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。
 ※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。
 ※グラフ上部の数字は検体数を示しています。
 ※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50医療機関（内科定点22、小児科定点28）
 ※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5医療機関（内科定点2、小児科定点3）

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で4,292名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり84.00→85.84人）。地域別では、備中地域（164.20人）、岡山市（91.11人）、倉敷市（87.42人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

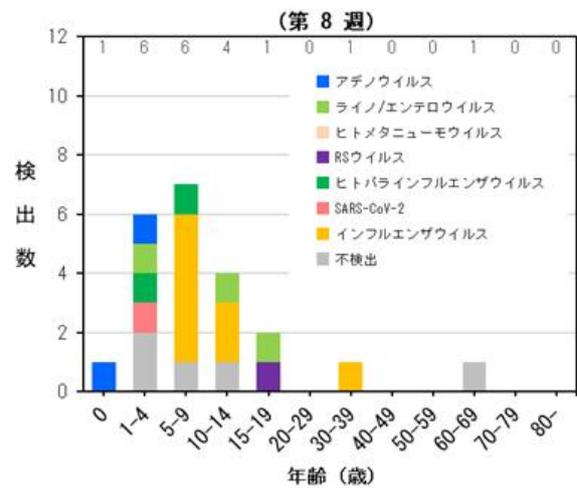
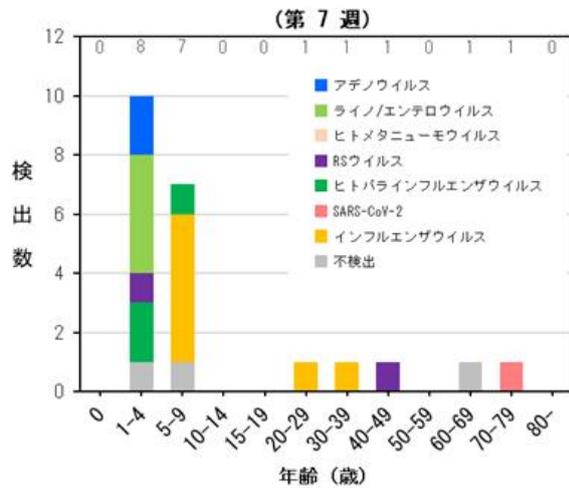
2026年第7週および第8週に採取された検体から検出された病原体は36株でした（詳細は下表参照）。

【第7週および第8週 岡山県環境保健センターにおける病原体検出状況】

	第7週	第8週	計*
検体数（うち不検出数）	20(3)	20(5)	40(8)
インフルエンザウイルス	7	8	15
SARS-CoV-2	1	1	2
ヒトパラインフルエンザウイルス	3	2	5
RSウイルス	2	1	3
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0
ライノ/エンテロウイルス	4	3	7
アデノウイルス	2	2	4
計	19	17	36

* 重複あり

○年齢別病原体検出状況



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。
 ※1 検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。
 ※グラフ上部の数字は各年齢別の検体数を示しています。
 ※急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体定点医療機関数：5 医療機関 (内科定点 2、小児科定点 3)

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析 \(岡山県感染症情報センター\)](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について \(国立健康危機管理研究機構\)](#)

麻しんの海外からの輸入事例が増えています

「麻しん (はしか)」は世界で流行している感染症です。
 帰国後 2 週間程度は麻しん発症の可能性を考慮し健康状態に注意してください。

海外へ行く前に

- ・麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
- ・定期接種を受けていない人は、接種を検討してください
 (麻しんの予防接種は予防法として最も有効です)

帰国後 2 週間程度は

- ・高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう

海外渡航者への麻しんの注意喚起 (厚生労働省)

[海外へ渡航される方へ](#)

[海外から帰国された方へ](#)



◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令中です！

➤ 「清潔」（菌をつけない）

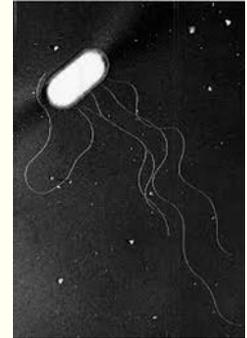
- ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
- ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。

➤ 「迅速・冷却」（菌を増やさない）

- ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
- ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
（生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。）

➤ 「加熱」（菌をやっつける）

- ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
- ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう（腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間以上の加熱で死滅します）。



0157 の電子顕微鏡画像
(国立健康危機管理研究機構)

[食中毒予防の3原則（岡山県生活衛生課）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省作成チラシ）](#)

インフルエンザ週報 2026年 第8週 (2月16日～2月22日)

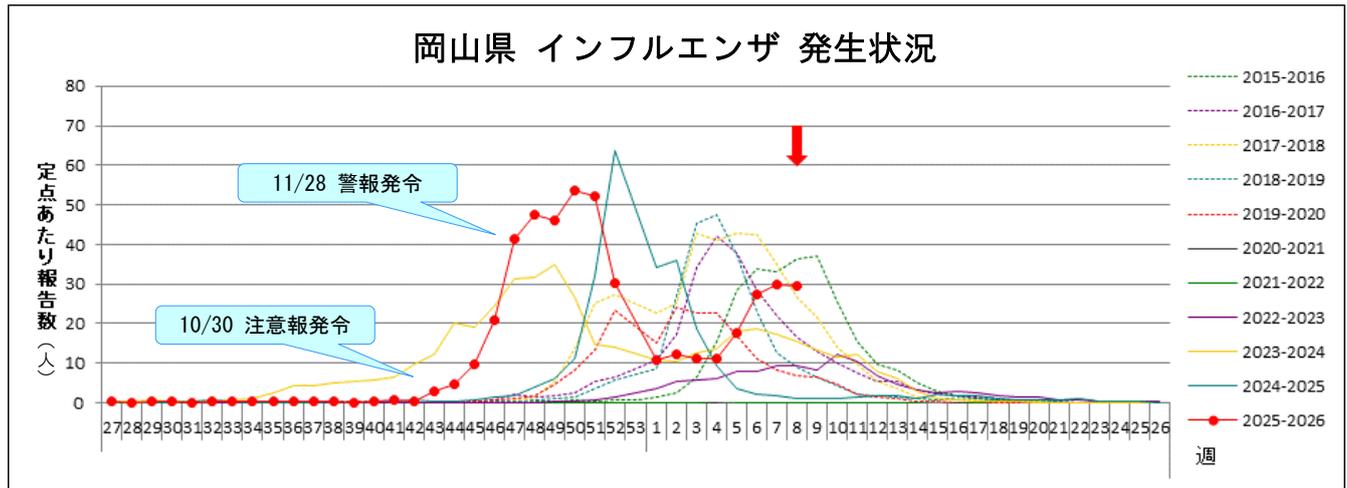
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で1,481名（定点あたり29.62人）の報告がありました（50定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が123施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者7名の報告がありました。

【第9週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が84施設でありました（2月23日～25日）。



インフルエンザは、県全体で1,481名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり29.90 → 29.62人）。岡山県は11月28日に『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、備中地域（47.40人）、岡山市（35.17人）、倉敷市（32.75人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

～A型に感染してもB型に感染することがあります～

【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事
- ・高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方で、予防接種がまだの方は接種を検討しましょう
（ワクチン接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
 - ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
 - ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	1,481	➡	備 中	患者数	237	➡
	定点あたり	29.62			定点あたり	47.40	
岡山市	患者数	633	➡	備 北	患者数	69	➡
	定点あたり	35.17			定点あたり	17.25	
倉敷市	患者数	393	➡	真 庭	患者数	37	➡
	定点あたり	32.75			定点あたり	18.50	
備 前	患者数	72	➡	美 作	患者数	40	➡
	定点あたり	18.00			定点あたり	8.00	

【記号の説明】 前週からの推移
 ↑ : 大幅な増加 ➡ : 増加 ➡ : ほぼ増減なし ➡ : 減少 ↓ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

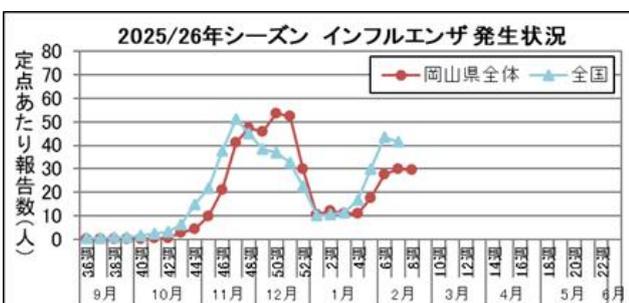
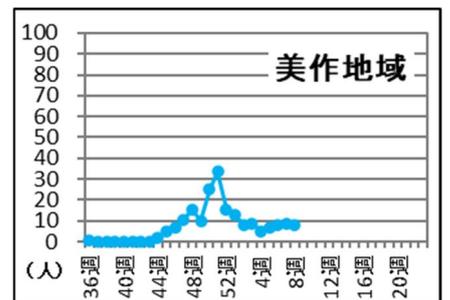
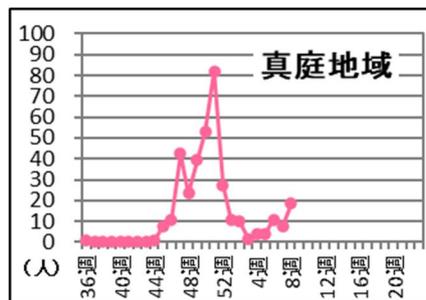
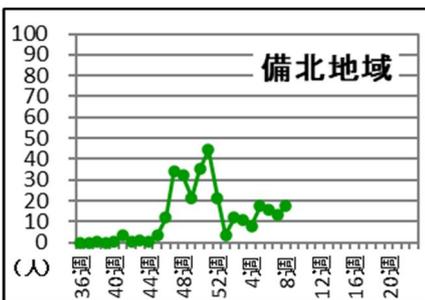
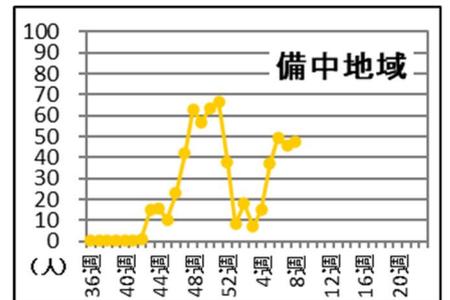
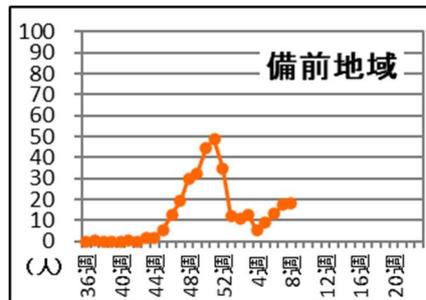
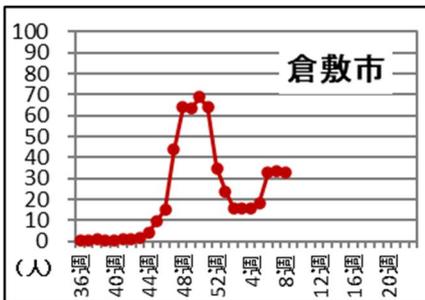
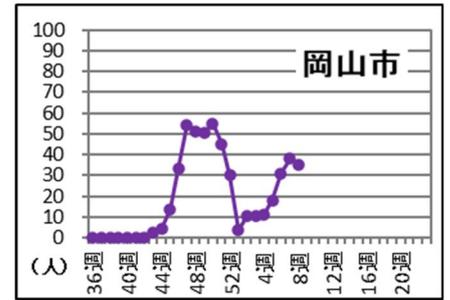
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

※数字は定点あたり報告数

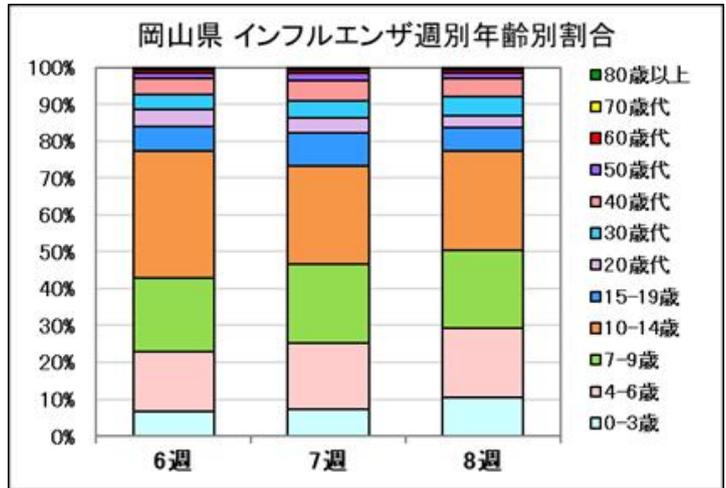
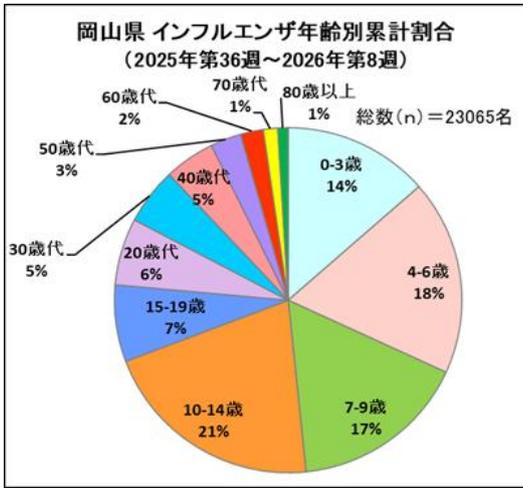


全国集計 2026 年第 7 週 (2/9~2/15) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は、41.44 人となりました。

都道府県別では、大分県 (64.43 人)、埼玉県 (62.60 人)、鹿児島県 (62.12 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。24 都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



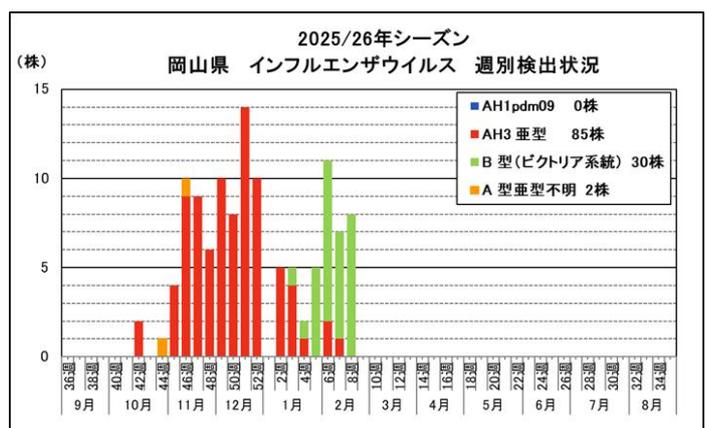
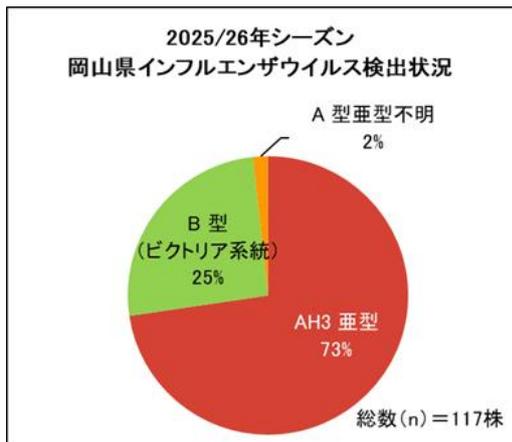
※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2026年第8週に新たに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは15株で、AH3亜型が1株、B型（ビクトリア系統）が14株でした。

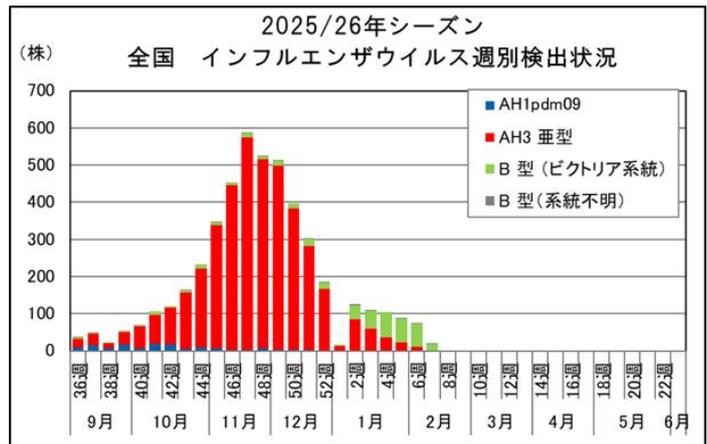
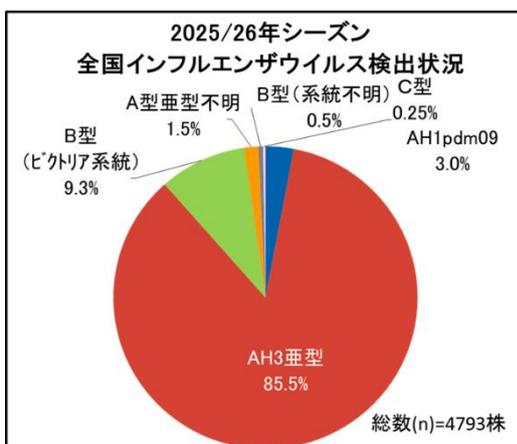
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは117株で、AH3亜型が85株、B型（ビクトリア系統）が30株、A型亜型不明が2株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が143株、AH3亜型が4,097株、B型（ビクトリア系統）が445株、A型亜型不明が72株、B型（系統不明）が24株、C型が12株となっています（2月23日現在）。

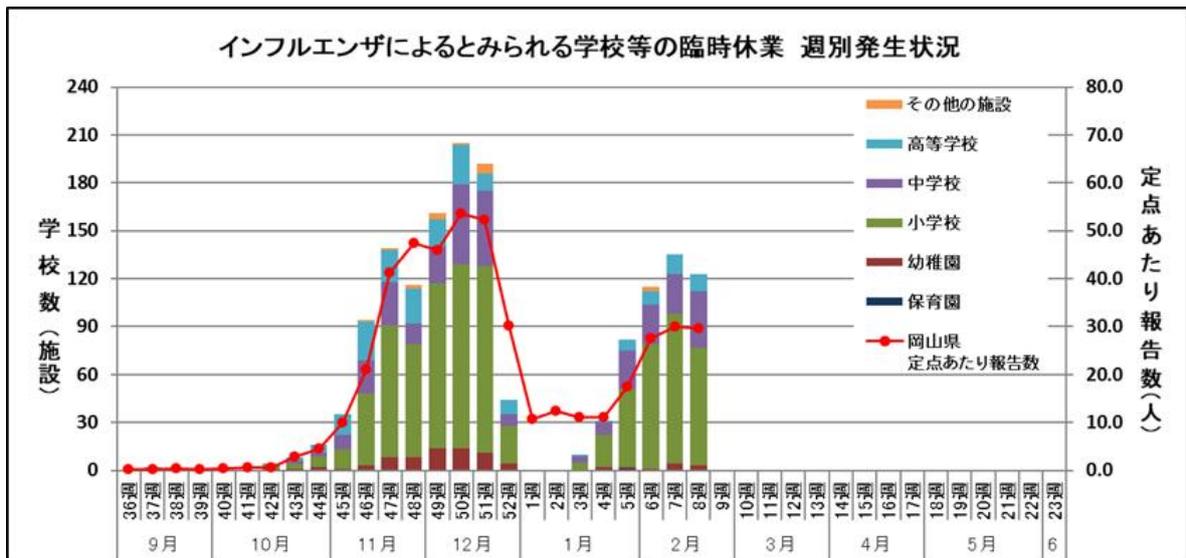
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、123施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第8週	0	3	74	35	11	0	123
累計	1	78	904	322	190	18	1,513

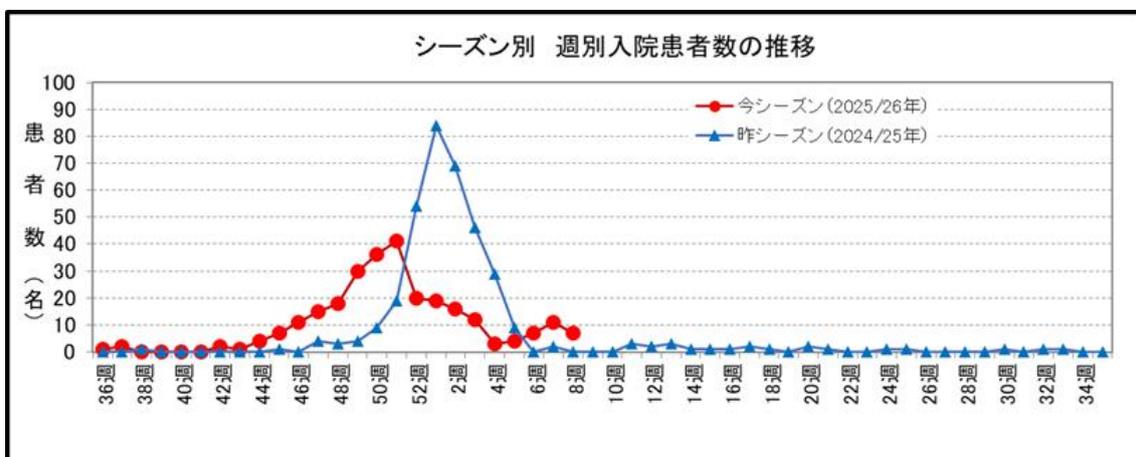
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、7名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第8週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1	3	1				1		1			7
ICU入室*								1					1
人工呼吸器の利用*								1					1
頭部CT検査(予定含)*													
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず		1	3	1						1			6

* 重複あり

【2025年9月1日(第36週)以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	17	40	24	24	3	2	3	5	10	23	53	63	267
ICU入室*		1	1					1	1	2	8	2	16
人工呼吸器の利用*			1			1		1	1	1	1	2	8
頭部CT検査(予定含)*		1		1				1	1	5	10	8	27
頭部MRI検査(予定含)*		8	3	2					1		1	3	18
脳波検査(予定含)*		2		2					1				5
いずれにも該当せず	17	30	20	20	3	1	3	3	8	17	39	50	211

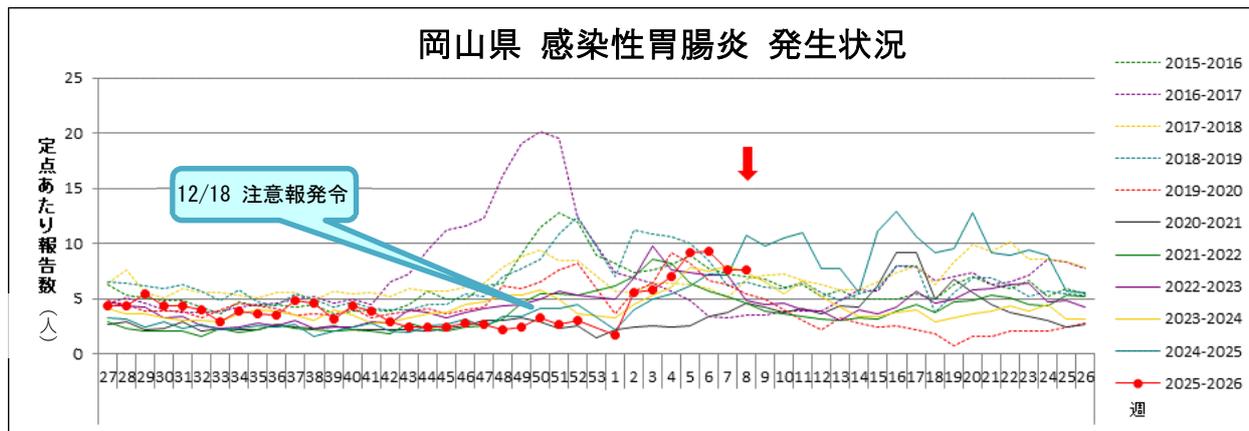
* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)
[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)

感染性胃腸炎週報 2026年 第8週 (2月16日～2月22日)

岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で212名(定点あたり7.57人)の報告がありました(28定点医療機関報告)。

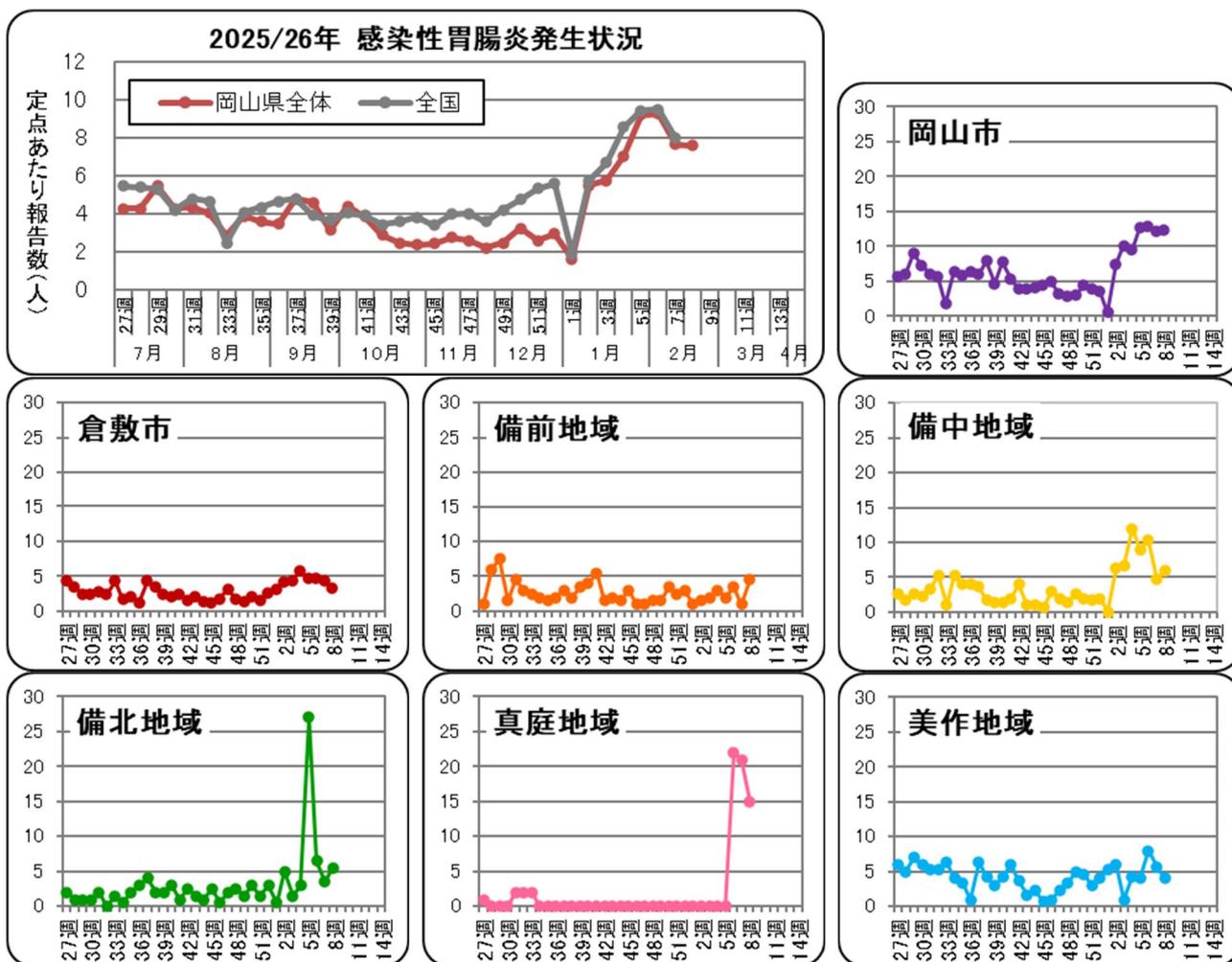


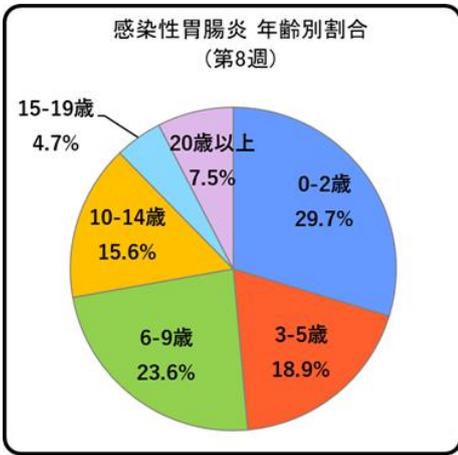
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年26週でグラフを作成しています。
 ※2025年第15週以降の降定点数が54医療機関から28医療機関になりました。

感染性胃腸炎は、県全体で212名の報告があり、前週とほぼ同数でした(定点あたり7.64→7.57人)。

冬から春にかけての感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底、食品の十分な加熱、おう吐物・下痢便の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めましょう。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況

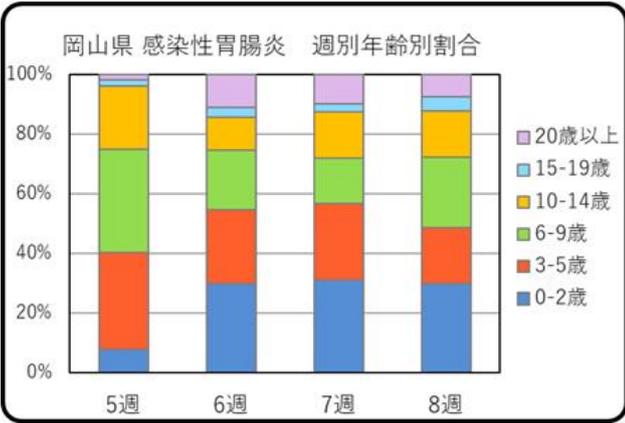




レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。

※数字は定点あたり報告数



小児科定点（28 定点医療機関）からの報告によると、2026年 第8週の年齢別割合では、0-2歳 29.7%、6-9歳 23.6%、3-5歳 18.9%の順に多く報告されています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に 気をつけましょう ◆◆

< 予 防 方 法 >

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これらを処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。



© 岡山県「ももっち」



※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

●ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）

ノロウイルスの電子顕微鏡写真
岡山県環境保健センターウイルス科 撮影



保健所別報告患者数 2026年 第8週(定点把握)

(2026/02/16~2026/02/22)

2026年2月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1481	29.62	633	35.17	393	32.75	72	18.00	237	47.40	69	17.25	37	18.50	40	8.00
COVID-19	43	0.86	11	0.61	15	1.25	2	0.50	10	2.00	1	0.25	1	0.50	3	0.60
急性呼吸器感染症	4292	85.84	1640	91.11	1049	87.42	264	66.00	821	164.20	295	73.75	62	31.00	161	32.20
RSウイルス感染症	24	0.86	4	0.40	16	2.29	1	0.50	-	-	-	-	1	1.00	2	0.67
咽頭結膜熱	4	0.14	1	0.10	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.61	25	2.50	6	0.86	1	0.50	9	3.00	-	-	1	1.00	3	1.00
感染性胃腸炎	212	7.57	124	12.40	23	3.29	9	4.50	18	6.00	11	5.50	15	15.00	12	4.00
水痘	4	0.14	3	0.30	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
手足口病	6	0.21	3	0.30	2	0.29	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	0.14	1	0.10	-	-	1	0.50	2	0.67	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	6	0.21	4	0.40	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.11	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2026年 第8週(発生レベル設定疾患) (2026/02/16~2026/02/22)

2026年2月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1481	29.62	633	35.17	393	32.75	72	18.00	237	47.40	69	17.25	37	18.50	40	8.00
咽頭結膜熱	4	0.14	1	0.10	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.61	25	2.50	6	0.86	1	0.50	9	3.00	-	-	1	1.00	3	1.00
感染性胃腸炎	212	7.57	124	12.40	23	3.29	9	4.50	18	6.00	11	5.50	15	15.00	12	4.00
水痘	4	0.14	3	0.30	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
手足口病	6	0.21	3	0.30	2	0.29	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	0.14	1	0.10	-	-	1	0.50	2	0.67	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.11	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2026年 第8週 2026/02/16～2026/02/22)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	1481	1	12	32	37	71	83	90	109	106	117	87	401	93	47	80	71	22	13	8	1
COVID-19	43	-	-	1	3	1	1	-	-	1	-	3	3	1	4	1	2	6	3	7	6

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	4292	238	1426	1118	606	173	122	164	142	95	70	58	80

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	24	3	7	8	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	4	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	-	-	1	1	2	4	4	6	6	4	3	14	-	
感染性胃腸炎	212	1	10	32	20	13	13	14	15	13	11	11	33	10	16
水痘	4	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	
手足口病	6	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	4	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	6	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症 (ARI)	4,292	85.84	1,640	91.11	1,049	87.42	264	66.00	821	164.20	295	73.75	62	31.00	161	32.20

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症 (ARI)	4,292	238	1,426	1,118	606	173	122	164	142	95	70	58	80

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2026年 8週

分類	疾病名	2026		2025	疾病名	2026		2025	疾病名	2026		2025
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	29	237	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	95
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	1	1	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	-	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	-	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	8
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	-
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	19	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	6	58
	レプトスピラ症	-	-	1	ロッキー山紅斑熱	-	-	-				
五類	アメーバ赤痢	1	2	8	ウイルス性肝炎	-	-	2	カルバベネム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	1	20
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	2	急性脳炎	-	1	14	クリプトスポリジウム症	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	21	後天性免疫不全症候群	-	1	9
	ジアルジア症	-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	2	9	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	8	55	水痘(入院例に限る。)	-	1	6	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	2	21	253	播種性クリプトコックス症	-	-	3	破傷風	-	-	-
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	-	30	2,145
	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

